

普及現地情報

発信年月日:令和8年(2026年) 8月6日
所 属 名:高島農産普及課
番 号:H26009
発 信 者 名:奥田 大崎



令和8年度まくわうり目合わせ会、開催！

7月27日(月)にJAレーク滋賀今津営農経済センター選果場で令和8年度のまくわうり目合わせ会が開催されました。この目合わせ会は高品質のまくわうりを出荷できるよう、当課の働きかけにより始まったものです。当課からは栽培状況と今後の管理について説明し、JAからは規格について説明されました。

高島市では、まくわうりが地域特産品として定着しており、直売所での販売に加えて市場にはJAの共同選果場で共選して出荷され、高評価を得ています。当課はJAレーク滋賀と連携してまくわうりの収量と品質の向上を目指して栽培研修会や現地巡回などを実施してきました。近年の高温少雨のため収穫が早まり、最も需要がある8月上旬の出荷にピークを合わすことが難しくなっていました。研修会で長く収穫ができるように定植時期を従来より1週間程度おそい6月上旬にも分散させるよう呼びかけ、栽培管理や病虫害防除について説明しました。この活動により、7月22日に選果場が開き、7月下旬から8月上旬に出荷のピークが来る見込みです。お盆に向けて「金太郎まくわ」として県内や京都の市場に出荷されるほか、一部直売所では8月下旬ごろまで出荷される予定です。

秋には来年の栽培に向けて、今年度の振り返り研修会を開催する予定をしており、今後もまくわうりの産地強化に向け支援を実施します。



当課からの説明を聞く生産者



出荷規格について説明するJA職員